

2016年5月23日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

代表取締役社長 藤田正雄

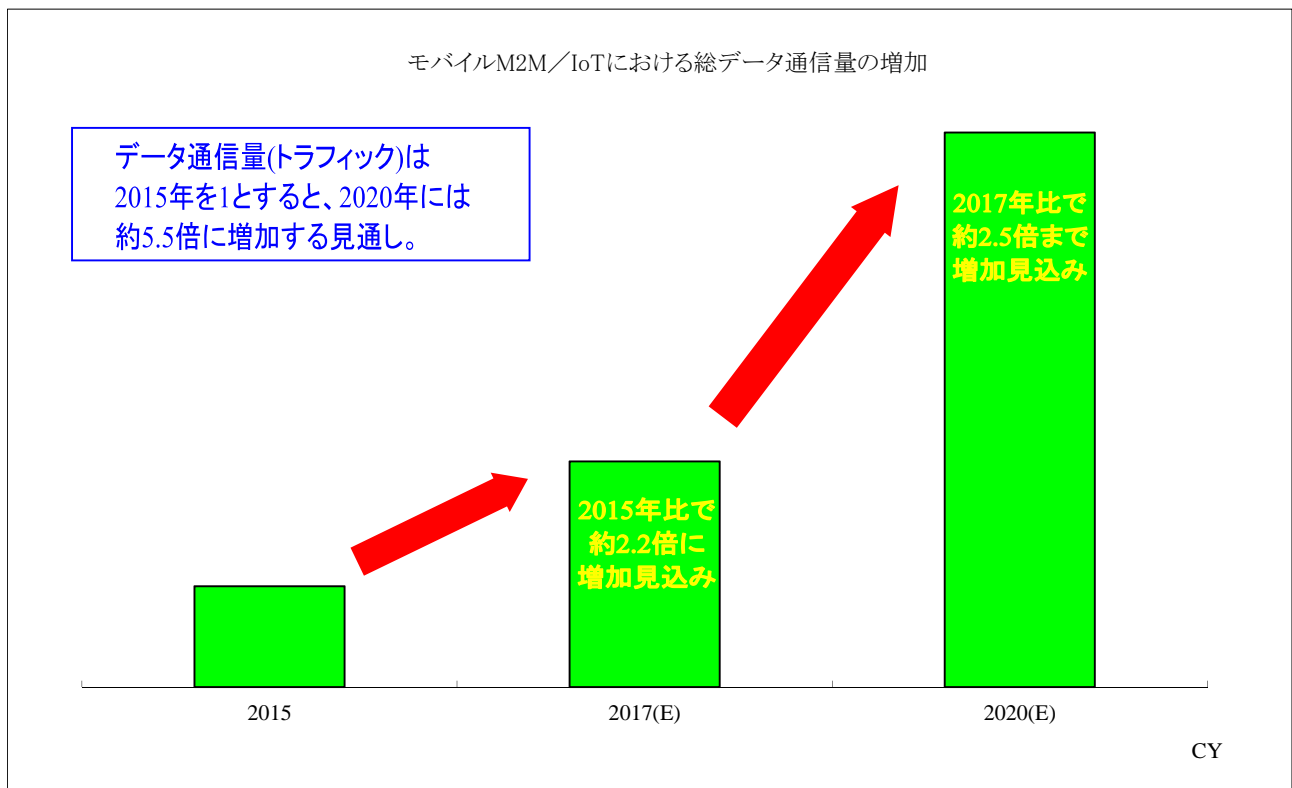
TSR - Press Release

モバイル M2M によるデータトラフィックは 2020 年には 5.5 倍に増加

～ セキュリティ用途、画像伝送、動画配信などの利用でデータ通信量が増加 ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS、WiMAX などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場に関する調査報告書『国内モバイル M2M/IoT 市場動向調査 (2015 年版)』シリーズを 3 月から 4 月にかけて発刊しました。

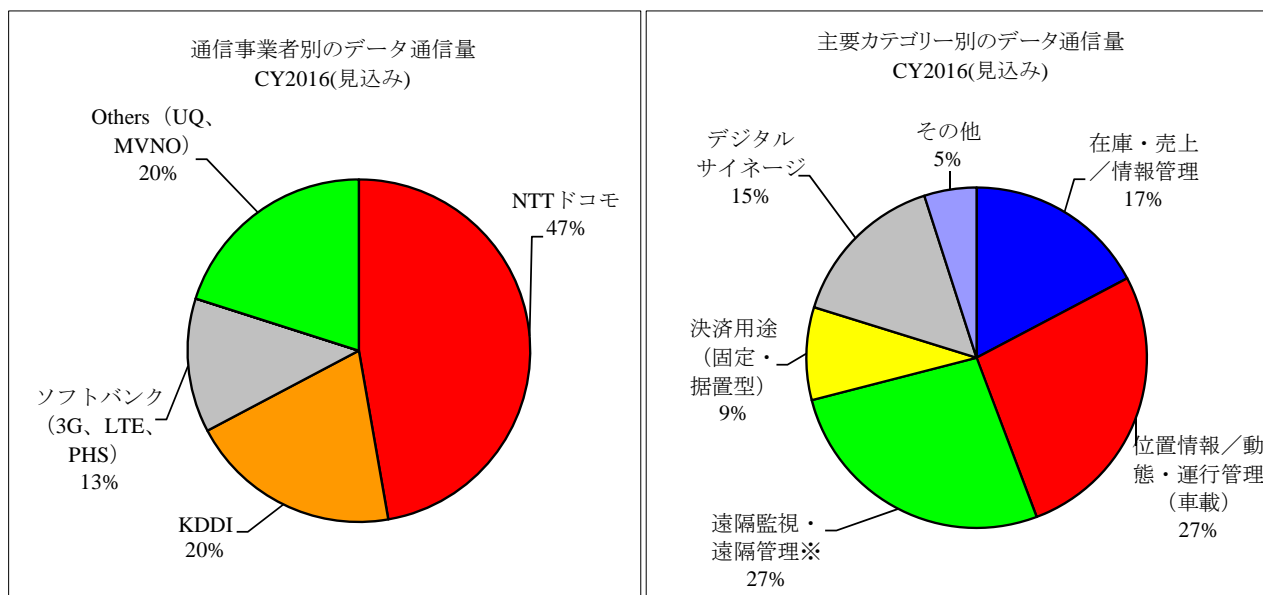
法人向けモバイル M2M/IoT 市場におけるデータ通信量 (トラフィック) は、2015 年 12 月の月間データ通信量を 1 とした場合、2017 年 12 月にはその 1.5 倍以上に増加し、2020 年 12 月には約 5.5 倍に増加する見通しとなった。



セキュリティカメラなどを含む画像伝送サービスや、デジタルサイネージなどの動画配信サービスといった、データ通信量が多い用途の契約件数が堅調に伸びていくことで、データ通信量全体も伸びていく見通しである。特にセキュリティ関連はカメラ以外も含めて、2020年の東京オリンピック開催

などを見越して利用が伸びると予測される。デジタルサイネージも外国人観光客の増加に伴い、旅行者向け案内表示という利用が増え始めている。

このほか、モバイル回線を利用した WiFi アクセスポイントも増え始めており、1回線あたりのデータ通信量の多い用途で回線が伸びているが、その一方で、データ通信量が極めて少ないスマートメーターが M2M 市場において高いシェアを占めるようになるため、M2M 回線全体で見ただけでは 1回線あたりのデータ通信量は近々ではそれほど伸びないと見られる。



通信事業者別では、契約回線数でも高いシェアを占めている NTT ドコモが、画像伝送サービスや決済用途などで多くの利用されており、データ通信量では全体の 5 割弱を占めている。サイネージや監視カメラ等の大容量データ向けに回線を多く提供している WiMAX 系 MVNO を含む MVNO 陣営が 2 割強のシェアを占める見通しである。MNO の中でいち早く LTE 回線サービスに注力し始めた KDDI は全体の約 2 割を占め、また 2014 年版調査時点では 1 割未満であったソフトバンクのシェアがグループ全体で 1 割強となっており、サービス利用者を増やしていることが明確に見て取れる。

参考までに、モバイル M2M 市場におけるトラフィックを、総務省が発表した「我が国の移動通信トラフィックの現状 (平成 27 年 12 月)」と比較すると、2015 年 12 月時点ではデータ通信量全体の 0.1% に満たなかった。しかし、2014 年版調査とその割合は僅かであるが上昇しており、市場全体で M2M /IoT サービスの利用が増えていることが窺える。

【資料紹介】

『国内モバイル M2M/IoT 市場動向調査 (2015 年版)』は「第 1 部市場動向編」と「第 2 部データ通信量編」の 2 部構成の資料となります。

第 1 部と第 2 部は別冊となっており、別々のご購入も可能となっておりますが、第 1 部と第 2 部のセット購入割引も行なっています。また、同資料の姉妹資料となる M2M プラットフォーム市場調査資料を今夏に発刊予定であり、全 3 資料によって国内モバイル M2M 市場全体を俯瞰することが出来るようになっております。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第 3 グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) TEL:03-3866-4505